

## 中学生ボランティア「トンボの棲みよい環境づくり」

1 日時：令和3年6月6日（日）午前9時30分～11時30分

2 参加人数：20人（参加予定者22人のうち2人欠席）

磐田第一中：3人（男子1、女子2） 城山中：4人（男子3、女子1）  
向陽中：4人（男子4） 神明中：1人（男子1）  
南部中：3人（男子2、女子1） 豊岡中：5人（女子5）

3 指導・助言：今村信大氏、保崎有香氏、内野茂喜センター長

4 内容

(1) 受付にて

- ①検温
- ②活動報告書への押印
- ③健康観察簿の受領

(2) 開会の挨拶（今村）

今日は雨天にも関わらず、20人の中学生ボランティアの方に参加していただいております。作業する頃には雨もやむでしょう。

今日行う作業は、トンボの棲みよい環境を作ることです。このことがトンボを守ることに繋がっていきます。皆さんが力を貸していただけることを感謝するとともに期待しています。

(3) 日程説明（内野）

センターから徒歩で10分くらいのところにある「実験池」に行きます。

そこで、おおよそ1時間ぐらいコンテナの整備の作業を行います。作業内容は現地で詳しく説明しますが、鎌を使います。刃物ですので使い方にはくれぐれも注意してください。

作業後、徒歩でセンターにもどり、閉会式を行います。

(4) 作業内容説の説明（保崎）現地にて

- ①コンテナ内に繁茂している植物を持ち上げ容量が1/2～1/4程度になるように根の部分を鎌で切り分け、コンテナとコンテナの間の上に置く。このことで根に隠れているヤゴをはじめとする小動物はコンテナの中に戻ることができ、命を守ることができる。
- ②コンテナ内にいるヤゴをはじめとする小動物を網ですくい、バットに入れ観察する。（形状、種類、特長等）
- ③残ったコンテナの水を隣のコンテナに移す。この時、網を用いて小動物を捕獲し、バットに入れる。
- ④空になったコンテナは後日使用するため、そのまましておくか、竹やぶなどに立てかけておく。
- ⑤バットに保護した小動物は水の入っているコンテナに戻す。

5 見つけることができたヤゴや小動物

ヤゴ：クロスジギンヤンマ、チョウトンボ、ショウジョウトンボ、キイトンボ、ベニイトトンボ他  
その他：ゲンゴロウ、ミズスマシ、イトミミズ、アカムシ他

6 閉会の挨拶（今村、内野）

今日、皆さんの活動は、トンボの棲みよい環境を作ることを目的としていました。この成果が数か月後、半年後、1年後に現れます。今後も何回か作業場所に来て観察してくれると嬉しいです。

10月に2回目の作業がありますので、都合のつく方は参加してください。

